

# 龍谷の教育

No.163

2022.Summer



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

## 令和4年度 第60回佐賀県高等学校総合体育大会



## 自転車部 大活躍！





# これからの社会に通用する生徒の育成と龍谷中高一貫理数グローバル

学校法人佐賀龍谷学園 龍谷中学校・高等学校 副校長

## 井手 和憲



専門高校ではインターンシップ、中学校では職場体験学習が今や盛んに実施されるようになってきました。専門高校のインターンシップは就業体験とも言いですが、体験を通して、仕事や企業、業界、社会への理解を深めるため、社会に出る前にビジネスの現場を体験できるよい機会になっています。

では、中学校の職場体験はどうでしょうか。就業体験とは、その意味合いが少し違っています。小学校における職場見学の経験をもとに、今度は、直接、働く人と接することにより、また、実際の知識や技術・技能に触れることを通じて、学ぶことや働くことの意義を理解し、生きるこの時代の尊厳を感得することとされています。また、就業体験とは違い、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできる教育活動として、重要な意味をもっています。

そもそも、中学校の職場体験が始まったのは、平成の初めの頃です。しかし、始めた頃は、生徒指導の要素が強く、それまでの時代背景であった、詰め込みの授業により学習についていけない生徒が増加する傾向にある中、学校内でもあまりに多くの問題が発生し、抱え込むことも多かつたため、これに歯止めをかける一助としたいとの願いから、保護者やその世代の人々が、汗を流しながら懸命に働いている様子を感じ取らせることにより、感謝の心とともに、生徒たちを一步大人に近づけようとする考えがあったことを記憶しています。

「キャリア教育」という文が、文部科学行政関連の審議会報告等で初めて登場したのは、平成11年12月に発出の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」になってのことです。この答申は、学校種間における接続だけではなく、「学校教育と職業生活との接続」の改善も視野に入れたものであり、具体的には、「小学校段階から発達段階に応じてキャリア教育を実施する必要がある」と提言されています。

キャリア教育は、就学前の段階から初等中等教育・高等教育を貫き、また学校から社会への移行に困難を抱える若者（若年無業者など）を支援する様々な機関においても実践されるものです。

将来を願って、入学から卒業までにとどまらず、卒業後も含めた計画的・組織的な教育活動として、卒業時の進路をどう選択するかを含め、さらにどういう人間になり、どう生きていくかが望ましいかといった長期的展望に立つて指導・援助するという意味での「生き方指導」とも言える教育活動へと変化していき、今のようになスタイルのキャリア教育ができあがりまして、数年前から実施しているキャリアパスポートは、まさに長期的展望に立つた記録と言えます。

さて、これからの未来を生きていく子どもたちに、どのような「生き方指導」をしていくか。私たちが、今取り組んでいる「龍谷中高一貫理数グローバル」では、国のこうした考えをもとに、21世紀の「本物の学力」と「豊かな心」をもつ人を育成することをテーマに、龍谷中高一貫として、さらに一歩進んだ新しい感覚で、生徒の育成を図っていくようにしています。

そのためには、学びに向かうことのできる「自立した学習者」の育成が大切です。その育成に向けて、次のような手順を踏んでいきます。まず、各教科における基礎的内容の学習を土台として、学ぶ意義を理解しながら、自ら課題を見つけ、解決していくこととする探究的な学びへと発展させます。

次に、教科横断型、探究型学習によって学びを深めることにより、多角的な視点で物事を見つめる姿勢を養います。疑問や関心という純粋な思いを学びの原動力として、粘り強く取り組むことを重要視します。また、仲間と共に様々な活動を共同することにより、自らの考えや行動を意識し、社会で活かせる力を身につかせます。さらに、6か年間の一貫教育の後半の高校2年生・3年生にあつては、これまで身につけてきた、探求する力、論理的思考力、プレゼンテーション力や他者理解に基づいたコミュニケーション力などの、様々なスキルを活かして、自らが希望する進路、自己実現に向けての対策を行います。

本校では、それを培っていく教育の手段として、本校の取組であるiPadを導入した先進的な情報教育については、これまで多数、ご紹介させていただいたところですが、これに加え、本年度から2名の外国人教師がこれまでの英語教育の指導実績を認めていただき、佐賀県教員免許状を取得し、A.L.TからNET（Native English Teacher）へと、その立場が変わり、今、学級担任として、また英語教員として単独で日々の授業を行うことができるようになりました。こうした教育アイテムを整え、普段の学習の積み重ねにより、国公立大学、難関私立大学、海外の大学への進学・就職、また起業等を前提として、「21世紀型資質・能力」の育成を目指しています。

龍谷中高一貫理数グローバルは、STEMing（超スマート社会）での力強い私学としての学校をデザインし、生徒が誇りを持ち、本物の学力と21世紀型スキルを身につけ、よりよい未来をつくるために何にでも挑戦する生徒の育成を目指して、生徒たちの尊い人生を大切に大切に育んでまいります。

僕は僕に「障害」があると思っていないかった  
僕も、人は僕のことを「障害」のある人と言  
僕自身だけれど「障害」ではない

私がインターネットで「障がい」について調べ物をしていったとき、画面いっぱいこの詩が現れました。作者は、松下大介さん、当時18歳で股体に障がいのある方です。「僕は僕自身だけれど「障害」ではない」。これを初めて読んだとき、今まで障がいのことをよく分かったつもりでいた私は、初めて障がいを持った人の心からの叫びを聞いたような気がしました。「僕が生きていく世の中に「障害」があると思っていた。僕は僕に「障害」があると思っていなかった」。この言葉は考えてもみない言葉でした。アメリカでは、「ビーブル・ファースト」、つまり「障がい者である前に人間である」という考えが根本にあると聞きま

す。では、日本ではどうでしょう？ 健常者と障がい者、同じ社会の中での共存はどうなっているのか、私にとつて、つくづく考えさせられる詩との出会いでした。

私には、20歳になる息子がいます。重度の知的障がいがあります。大切な家族の一員であり、かつ、父親である私に様々な角度から問題提起をしてくれる、大切な存在でもありまして。息子が誕生してから20年間、私はずっと「障がい」というものを身近に感じてきました。歩き始めたのが4歳近くだった息子のことは、それが、当時当たり前だと思っていました。真っ直ぐに歩くことが困難な息子、奇声を発する時もある、確かに少し変わったところも思ったりもした。だから、周りの人にこういう息子がいるのを隠した。ばれたくないと思うこともありました。しかし、5歳の時に思い切つて息子についてカミングアウトすることで、私は息子の「障がい」を、「個性」だと思えるようになりました。息子だつて、他の人と変わらない、ひとり人間なんだと思うことが出来るようになりました。

しかし私がいくらそう思つても、現在の日本では、まだまだ健常者の立場を優先して考える事が多いのは事実です。こんなことがありました。病院の待合室にいたとき息子を見て「おか

## 同朋

しいから、見ちゃダメだよ、私の目の前にいた母親が3、4歳の男の子をたしなめていました。「何言つてんだ？」怒りが込み上げてきました。わずかに、この母親は「障がい者は見えない存在だ」という意識を植えつけている、この子が、これから障がい者に偏見をもつて生きていくかもしれないことを、この母親はわかっているのです。

私が息子と生きていく中で、大切にしているお話があります。お釈迦様のお弟子シリハンドクの話です。ハンドクは、自分の名前も覚えられない、今でいう知的障がいの方だったようです。お釈迦様は一本のホウキと「チリを払わん、あかを除かん」の言葉をハンドクに授けられました。ハンドクは、日々、掃除しながら、与えられたありがたい言葉を必死に覚えようと努力しました。「チリを払わん」を覚えると「ア力を除かん」を忘れ、「ア力を除かん」を覚えると「チリを払わん」を忘れる。しかし、ハンドクは飽きもせず、それを20年間続けました。その間、一度だけお釈迦様から誉められたことがありました。「お前は何年掃除して続けても、(学力は)上達しないが、上達しないのに腐らなずよく同じことを続けることはとても大切なことだよ。お釈迦様は彼の愚直な精進を評価されたのです。その後、ついにハンドクは高い悟りを開くことができたのです。よき師匠、よき教えに会い、よく長期の努力精進に耐えた結果、実を結んだということです。この話から、お釈迦様には、はじめから知的障がい者のかかわり方の基本である、短いことを繰り返す、能力ではなく精進を褒めるという姿勢が身についておられたのではないのでしょうか。学び続けることの大切さを知っている感深いお話として私はこのお話を大切にしています。

(文責 加々良)









## 空手道部主将、久保田誓也さんに聞く

令和4年度の高校総体空手道佐賀県大会で、男女共に団体組み手優勝、男子個人型・個人組み手優勝および入賞、女子個人型・個人組み手入賞と、輝かしい成績を残しました。そこで今回は主将の久保田誓也(③鳥栖)さんにインタビューしました。

——優勝おめでとうございます。

久保田さん：ありがとうございます。

——今回優勝されたわけですが、何か優勝に結びついたなあと個人的に思うようなことはありますか。

久保田さん：前の試合と比べて、チームとしての団結力というか、技術面でもそうなんですけど、チームとしてのレベルが上がったと思います。

——それでは、チームのレベルを上げるための何か特別なことはありましたか。

久保田さん：去年とかと比べると先生というか指導者も変わったんですけど、自分たち一人一人の意識とかも上がってミーティングとかちょくちょく話したりとかして、チーム全体の意識確認というのもしだしてて多分そういうのでチームチーム自体の意識が上がったんじゃないかと思っています。

——それでは先生が変わったというのは大きいですか。

久保田さん：いや、大きいですね。すごい強豪校とかでやられてきた先生で、しっかり実力もあって熱血で自分たちのためにやってくれているので、刺激を受けて前とかよりも一人一人がしっかり意識できているなと思います。

——みんな前向きになってきているということはすごくよかったんだろうなと思いますが、今までやってきて何かきっかけがあったなということはあるですか。

久保田さん：中学校の時かなんですけど、中学校三年間で骨11本折って手術も4回してて結構怪我しやすい体だったんですけど、高校1年の時は道場でやらないようなトレーニングが多くなってまだ肉離れとかはあったんですけど、高校2年生の時には体がだいぶできて、怪我の量も極端に減ってずっと練習ができる環境になってよかったと思います。

——なるほど、怪我を乗り越えて今があるということですね。

久保田さん：はい、そうです。

——1年生の時期に困難を乗り越え2年の1年間の熟成期間があって3年生でしっかり花を咲かせるということでよかったですね。

久保田さん：ありがとうございます。

——今に満足せずにさらなる高みを目指していると思いますが、これから先伸ばしていこうと思うところはどんなところですか。

久保田さん：技術面でいえばまだまだ課題だらけなんですけど、チームの主将として自分のことだけにとどまらず、もっと周りの後輩のこととか同期もそうなんですけど、自分から先生にこういうところどうですかとか、メニュー考えたりとか、そういうところはまだ主将としての意識が足りないところもあるのでしっかりしていきたいなと思います。

——最後に、九州大会さらにその先の全国大会をにらんで抱負をお願いします。

久保田さん：今までやってきたことをだすだけなんですけど、もうちょっとしかないんで、しっかり練習でやりきってあとは本番に臨むだけなんです、悔いが残らないように締めくくりたいなと思っています。

——それでは、怪我がないように次回も賞状を持って帰ってきてほしいと思います。今日はありがとうございました。

久保田さん：ありがとうございます。頑張ります。

今年は顧問の長田先生に加えて、空手の指導者として赴任された吹上先生・藤田先生のもと、厳しくも充実した部活動が行われているようです。久保田主将は爽やかでいながら熱いハートを語ってくれました。

(文責 北村)



## 久光製薬さんからいただきました。

5月の終わりに、クールウエアスプレー・クールジェルシート・リフレッシュボディシートの3点を全校生徒にいただきました。外装からは昨年のオリンピック用とみられますが、使用期限は2023年3月とありまだまだ利用できるものです。これこそSDGs。もったいないをありがたく使わせていただいています。生徒たちも体育などのあとに利用して気持ち良さそうです。

ほかにも、部活動に対して企業様からスポーツドリンクなどを提供いただいています。地域に根付いて、支えられていることを実感しております。

本当にありがとうございます。

(文責 北村)









## 第1回オープンスクール「龍谷から想像するマイストーリー」参加御礼&第2回オープンスクール「龍谷から始まるマイストーリー」プロローグ「夏」予告

6月11日に実施した第1回オープンスクール「龍谷から想像するマイストーリー」には、中学生、保護者様300名を越えるご参加をいただき、ありがとうございました。全コース満員御礼となり、少し窮屈になってしまったこととお詫びいたします。

それぞれのコースではiPadやパソコンを使った学びの体験をしてもらいました。慣れない操作もあったかと思いますが、生徒の皆さんは素晴らしい作品を作ってくれました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。また、在校生のお手伝い生徒も中学生に一生懸命接してくれて、とてもいい経験、学びとさせていただきましたことにあわせて御礼申し上げます。

さて！！8月は皆様にドローンと龍谷の授業の様子や先生方の姿を見せちゃいます！

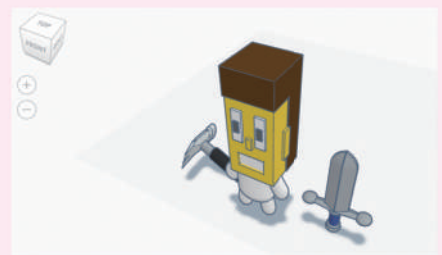
もうすでに300名近くのお申し込みをいただいておりますが、まだ間に合うコースがあるかも??かもしれません。ぜひ、龍谷を体験し、選択肢の1つに考えていただけるきっかけにしてもらえたら嬉しいです。お待ちしております。

6月OSの作品の一部を紹介します。

(文責 不二見)



### Bコース「あなたならどう売る？広告をデザインしよう」



### Cコース「英語で学ぶ3D」







# 龍谷SDGsなう



『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

柱① 持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します  
ターゲット4.6、4.7、13.1、16.1



生徒の尊厳と権利を第一に考え、きめ細やかな支援を行い、成長をサポートします。「おかげさま」・「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にして、敬愛の心・共感できる力を育み、地域そして地球に貢献できる生徒を育てます。宗教教育とICTの利活用やキャリア教育を通して、伝統を守りつつ新しいことに挑戦し続け、持続可能な社会を創造する人を育成して、一人ひとりの第一希望の夢実現を目指します。

## 高校1年生、「SDGsを自分ごとに」の精神を学びました!!! 6月4日(土)

地球市民の会事務局長岩永清邦氏・同会スタッフ山路健造氏・本校教師によりSDGs講座・ワークショップを行い、龍谷の目指すSDGs「知る」→「広める」→「実行する」の第一歩を踏み出しました。17の目標の優先順位・つながりを考え、全体の前で意見発表をしました(①②③)。あるクラスでは、全体発表できなかった生徒が教室で発表をして共有しました(④)。また実践を体験するSDGsカードゲームクロスで、SDGsの達成に向けたアクションアイデアを創出しました(⑤)。(特進科) 今後、自分の強みをどのようにSDGsに寄与できるかを考え、実践していくことを期待していきます。(文責 徳森)



①



②



③



④



⑤

## 中学1年生、「森林伐採についてどう思うか」をテーマにSDGs意見会!!! 5月11日(木)

賛成、反対の立場に分かれ、なぜそう考えるのか理由をグループで考えました。賛成意見では、「土砂災害が起きるのを防げる」「腐りそうな木を伐採すれば木材を得られる」、反対意見では、「大気汚染につながる」「絶滅危惧種の増加につながる」「農作物の収穫に影響が出てくる」などがありました。生徒同士がさまざまな考えを共有しながら、知見を広げることができました。これからSDGsが抱える問題について、どのようにアプローチしていくか楽しみです。



(文責 梶島)

## 認め合う心を持ちたい 5月7日(土)

佐賀のLGBTs支援団体SOiGIEs(そいぎーず)共同代表小林誠氏をお招きして、『LGBTQ+』講演会を開催しました。「多様性」についてのテーマは昨年「龍中学生会」の個人研究の題材にした生徒もおり、生徒たちの関心度が高いものでした。初めて聞く「SOGIE」「ALLY」「MTF」「FTM」などについての学習や当事者になりきる役割ロールプレイを通して、あらゆる人への配慮が大切なことや、カミングアウトには思った以上の勇気が必要なことを学びました。これからの学校生活で、誰に対しても心配りができる優しい人に成長してほしいと思います。(文責 徳森)





# 新緑輝く若葉、伸び伸びと学ば 理数グローバル生

龍谷 中学校

中高一貫 理数グローバル

## 真剣なまなざし、授業が大事！

「授業参観」・「情報モラル講演会」開催

5月21日（土）、「授業参観」、「情報モラル講演会」を行いました。

1～3年生の各クラスでは、大勢の保護者の方々が授業の様子を熱心にご覧になりました。本校の学びでは欠かせないiPadを使い、英語学習を行ったり、グループ学習やプレゼン活動、学習アプリを用いて問題を解くなど、普段取り組んでいる学習活動の一端をご覧いただきました。

その後は、生徒・保護者が講堂に集合し、

父の福岡情報専門学校の福谷圭

一さんから情報モラル・SNS等についてご講演いただきました。講演では、具体的な事例が数多く紹介されていたため、中学生にもわかりやすい内容となっていました。

iPadやスマートフォンを身近に活用している生徒諸君が、きちんとルールやマナーを身につけ、利便性と危険性について学ぶ貴重な機会となりました。



（文責 松尾）

## 「心に響く作品」との出会い

「美術館鑑賞会」開催

5月25日（水）、佐賀県立美術館・博物館を訪問し、「美術館鑑賞会」を実施しました。1～3年生が2グループに分かれて、入れ替わりながら2種類の展覧会を鑑賞しました。

テーマ展「ミクロスコープ・テレスコープ」よってはなれてみるアート」では、お二人の学芸員さんに作品解説いただき、「第74回二紀展」では、二紀会佐賀支部の支部長さんに鑑賞のポイントをご指導いただきました。

個人個人で「心に響く作品」と出会う鑑賞タイムでは、心惹かれる作品の写真を撮影したり、作家の先生方に制作について質問し、一人ひとりの生徒が主体性を持って熱心に美と向き合う姿が見られました。

【生徒感想より】

- ・「見応えのある作品ばかりで、時間が足りなかった。また見に行きたい！」
- ・「うまく言葉にできないけれど、絵を観た瞬間、ぞわっときて、胸のどきどきが止まらなかった！」
- ・「近づいてみるか離れてみるかで違う発見があった！遠くからは桜の木に見えたが、近づくくと破壊された人々の暮らが見えた」

鑑賞後は、生徒代表が解説してくださった作家の先生方や学芸員さんへ、お礼の言葉を述べました。

学芸員さんからは、「自分自身が中学生の頃、こんな鑑賞会はなかった。恵まれますね」「可愛らしい生徒さんたちでした。とても熱心に解説を聞いてくれ、嬉しかったです」「生徒さんのコメントで、同じ絵を観ても一人ひとり違う感想を持つことに気づかされました。ぜひ教室でも感想を共有して欲しい」と話されました。

二紀会の先生からは、「自分から質問するほど意欲的な生徒さんに驚きました」「本物に触れて、豊かな心を育ててください」とお言葉をいただきました。

一人ひとりの違いを良さと受けとめ、多様性の価値を認める心を育む教育を実践したいと思えます。

※今回は特別に、教育活動でのみ活用するという条件で、作品撮影の許可をいただきました。

（文責 田久保）





## 中学2年生、「アウトプット」で自信をつける

「統計グラフワークショップ」にて

6月4日(土)、佐賀県統計協会様のご後援を得て、本校にて「統計グラフワークショップ」を開催しました。

事前に予約された小学5年生・中学3年生、32名の参加があり、本校の中村純一教諭が講師を務めました。

そして、今回は本校2年生が大活躍してくれました。

生徒諸君は、昨年からの統計グラフについて学んでおり、事前学習で一度「インプット」したことを、参加者のサポートをしながら「アウトプット」し、自身の学びの定着を図ることをねらいとしました。

まず、生徒諸君は各係に分かれ、参加者のお出迎えや検温・消毒の案内、受付、会場・座席までの誘導などを積極的に行いました。いろいろな場所で「おはようございます」、「会場はこちらです」などの明るく、清々しい声が聞こえていました。

ワークショップが始まると、中村先生の解説に合わせて、参加者のサポート役として、一人ひとりが対応しました。初めは、声をかけるタイミングがわからなかったり、遠慮している生徒もいましたが、活動が進むにつれ、徐々に緊張もほぐれ、笑顔あり、優しい声かけあり、そして熱心な説明ありと、楽しんで取り組んでいる様子に変わってきました。

本校理数グローバルが掲げる身につけたい力の中の「挑戦する力」「コミュニケーション力」「プレゼンテーション力」などに関わる大切な取り組みとなりました。

(文責 松尾)



## 受賞、おめでとう!

### ◆佐賀県中学生春季剣道大会(4/23)

男子団体 **優勝**

- 荏 限 隼 人 (③西牟田)
- 奥 山 晃 英 (③大草野)
- 松 尾 亘 亮 (③壺 川)
- 平 田 謙 心 (③思 齋 館)
- 川 内 丸 太 一 (②千代田中部)
- 女子団体 3位

- 大 曲 遥 寧 (③銀 水)
- 川 内 丸 美 緒 (③千代田中部)
- 宮 崎 優 亜 (③北 方)
- 石 橋 杏 愛 (②北 明)
- 實 松 久 玲 愛 (②千代田西部)
- 山 崎 杏 南 (①西与賀)
- 新 田 有 珠 (①豊 原)
- 男子個人 3位 平 田 謙 心 (③思 齋 館)

### ◆第35回佐賀県道場少年剣道大会(6/5)

女子団体 3位

- 大 曲 遥 寧 (③銀 水)
- 川 内 丸 美 緒 (③千代田中部)
- 宮 崎 優 亜 (③北 方)
- 男子個人 **優勝** 平 田 謙 心 (③思 齋 館)
- 準優勝 荏 限 隼 人 (③西牟田)
- 敢闘賞 奥 山 晃 英 (③大草野)

### ◆第59回佐賀市中学生総合体育大会剣道競技(7/3)

男子団体 2位

- 荏 限 隼 人 (③西牟田)
- 奥 山 晃 英 (③大草野)
- 松 尾 亘 亮 (③壺 川)
- 平 田 謙 心 (③思 齋 館)
- 川 内 丸 太 一 (②千代田中部)

女子団体 2位

- 大 曲 遥 寧 (③銀 水)
- 川 内 丸 美 緒 (③千代田中部)
- 宮 崎 優 亜 (③北 方)
- 石 橋 杏 愛 (②北 明)
- 實 松 久 玲 愛 (②千代田西部)
- 山 崎 杏 南 (①西与賀)
- 新 田 有 珠 (①豊 原)
- 男子個人 **優勝** 平 田 謙 心 (③思 齋 館)
- 3位 松 尾 亘 亮 (③壺 川)
- 優秀賞 荏 限 隼 人 (③西牟田)
- 川 内 丸 太 一 (②千代田中部)

### ◆第34回佐賀県中学生空手道大会(5/1)

女子個人組手

- 3位 小 島 彩 瑛 (①佐大附属)

### ◆第58回佐賀県スポーツ少年団大会空手道競技(7/3)

中学生女子組手

- 優勝** 小 島 彩 瑛 (①佐大附属)
- 中学生男子組手
- 3位 鐘ヶ江 佳 大 (③日 新)

### ◆第58回国見台陸上競技選手権大会(5/4)

中学女子100mH

- 3位 松 石 望 愛 (②若 楠)

### ◆第44回ふれあい書道展

特 選

- 松 尾 日 翔 (③有 田)
- 吉 田 眞 悠 子 (②東与賀)
- 篠 崎 姫 花 (②新 栄)



## 九州龍谷短期大学に進学するとこんなメリットがあります！

九州龍谷短期大学では、龍谷高等学校卒業生の方が入学される際に入学金の全額免除を行っています。また、入学後に2年間で48万円の給付型奨学金を付与しております。進路について悩んでいる方は是非一度本学のオープンキャンパスへ足を運んでみてください！小規模な大学ならではの教員との距離の近さやアットホームさを感じることができますよ！

2022 Open Campus  
7/23 (SAT)、7/31 (SUN)  
8/6 (SAT)、8/21 (SUN)

○当日のスケジュール  
9：30～受付開始  
10：00～学長挨拶・学科紹介  
10：30～体験授業

鳥  
栖  
市

九州龍谷短期大学

学園だより



九州龍谷短期大学の公式Instagramをご存知ですか？  
普段の学生の様子やオープンキャンパスの様子、入試情報など様々なお知らせをお送りします。



佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様への入学金が減免されます。  
詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

## 九州龍谷短期大学付属 龍谷こども園



## こども園の年長さんと 龍谷高校サッカー部のお兄さんたちとじゃがいもを いっぱい掘りました！！

日時：令和4年6月8日(水)

